

令和2年度は、コロナ禍の影響で大変な社会情勢でしたが、京都周辺で地震や台風などの大きな被害はなく、自然災害の面では、比較的落ち着いた一年でした。

しかし、災害はいつ起こるかわかりません。身近なところから出来る災害対策を進めていきませんか？

すでに取り組まれている方もおられると思いますが、簡単に出来る取組をご紹介します。



家具の転倒防止対策をしていますか？

地震によって家具が転倒して、逃げ遅れたり、下敷きになってケガをすることがあります。

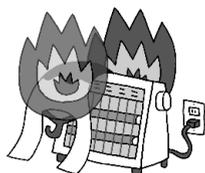
気象庁によると、震度5強でダンスなど重い家具が倒れ、テレビが台から落ちることがあると想定されています。

そこで、家具を固定したり、配置を変えたりすることで、その危険性を減らすことができます。

地震が起きてからでは、間に合いません。出来る準備は今から取り組んでおきましょう。



感震ブレーカーをご存知ですか？



通電火災を防ぐためには、避難時にブレーカーをおとすことが効果的ですが、実際にこのような行動をとれるかわかりません。

しかし、“感震ブレーカー”を設置することで、通電火災を防げるかもしれません。支援制度がありますので、ぜひご検討ください。

通電火災：地震による停電のあと、電気が復旧した時に発生する火事のこと

感震ブレーカーの設置

大地震の揺れを感知し、自動的にブレーカーを落とすことで、通電火災を防ぎます。

(令和2年度実績：最大5万円補助)



支援制度の相談先【京安心すまいセンター】
☎075-744-1631まで

来年度の取組予定

令和3年度の“防災まちあるき”は
7ブロックを対象に実施予定です。

(滝ヶ鼻町, 末吉町, 末之口町,
元毘沙門町, 新西今出川町)

平成30年度 2ブロック

平成31年度 6ブロック

令和2年度 8ブロック

地震時に倒壊の恐れが心配されていた
ひび割れたブロック塀が
軽量のフェンスに
改善されました！



改善前



改善後

(西今小路町)

⇒裏面では、京都市の支援制度を紹介しています。

「すぐにできる対策」から取り組んでいきましょう！

災害に強く、 避難しやすい 道づくり	<p>袋路の入口部分を安全にしましょう。 袋路の入口部分の建物の耐震・防火改修を行う場合、<u>上限250万円</u> 表札門の改修や除却など、入口部分を整備する場合、<u>上限50万円</u> (全額補助)の補助が受けられます！</p> <p>袋路の緊急避難経路を整備しましょう。 緊急避難扉を設置する場合、<u>上限30万円(全額補助)</u>の補助が受けられます！</p> <p>翔鸞学区 平成27年度整備</p> 	袋路やまちを安全にする対策に関する相談は、
	<p>古いブロック塀を改善しましょう。 ブロック塀の除却する場合、<u>上限11,600円/㎡</u>や新設費<u>上限8,900~14,700円/㎡</u>(※)(全額補助)の補助が受けられます！</p> <p>※塀の種類や面積により補助金額が変わります。</p> <p>翔鸞学区 平成30年度整備</p> 	
まちを強くする 空間づくり	<p>老朽化した空き家等を除却しましょう。 狭い道に面した家を除却し、周囲の防災性が向上する場合、<u>上限60万円(補助率2/3)</u>の補助が受けられます！</p> <p>翔鸞学区 令和元年度整備</p> 	お問い合わせください。
	<p>空き地などを防災ひろばに整備しましょう。 建物の除却費<u>上限100万円(補助率9/10)</u>、ひろばの整備費<u>上限200万円(全額補助)</u>の補助が受けられます！さらに、固定資産税が免除されます！</p>	

※これらの補助金には要件があります。詳しくはお問い合わせください。



引き続き、「防災まちづくり」への
みなさんのご参加・ご協力をお願いします。